

蒲生干潟の地形調査⑮

■台風により拡大した潟湖と河口

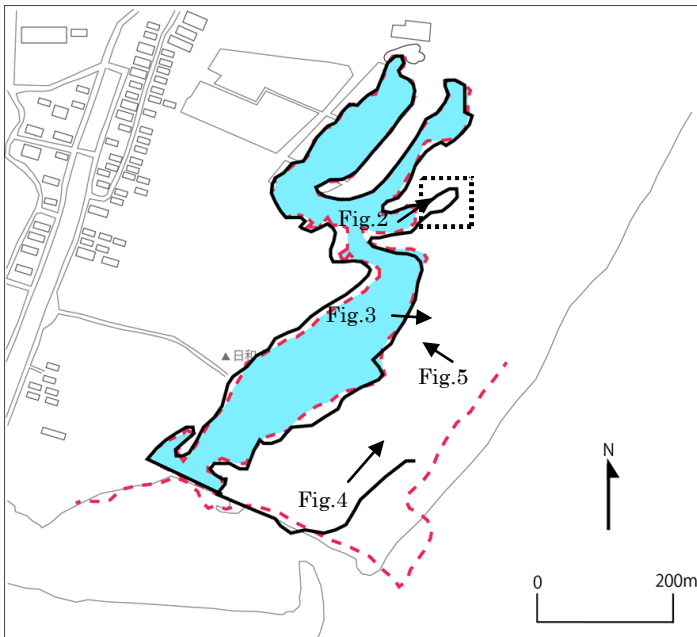


Fig.1 7, 8月のGPS簡易測量結果



Fig.3 潟湖内東側に堆積した瓦礫



Fig.4 堆積がなくなり平坦になった海岸線（西側から撮影）



Fig.2 台風による増水により拡大した潟湖（西側から撮影）



Fig.5 海側から潟湖へ水が流れた跡（東側から撮影）

調査日 2016年8月30日（水） 10：30～12：30

この日の干潮時刻は8：20（潮位36cm） 満潮時刻は15：18（140cm）で潮が満ちていく時間帯での調査となった。調査日の前日に台風10号が東北を縦断していた。Fig.1は7, 8月GPS簡易測量結果であり、図中の矢印は撮影場所と撮影方向を示している。黒の実線が8月の調査結果の汀線であり、赤色の破線は7月の調査のものである。潟湖は7月と比べてその面積が拡大していた。特にFig.1中の□の破線で囲んだ部分は台風による増水で拡大した部分であり、その部分写真がFig.2である。潟湖内東側には瓦礫が堆積した部分があり（Fig.3）、その様子からも台風により潟湖が増水したことがうかがえた。海岸線は7月の調査より平坦になっていた（Fig.4）。海岸線と潟湖の間にはFig.5のように海側から潟湖側へ水が流れた跡がところどころみられた。また河口付近では右岸も左岸も洲が削り取られ、河口が拡大していた。

（中田 晋）